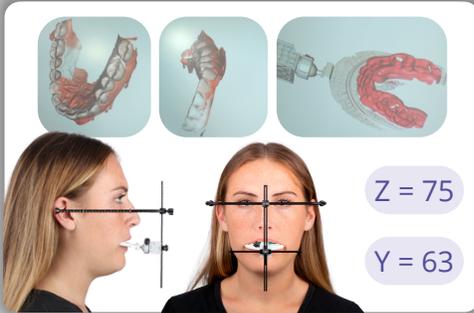




デジタルマウンティングアダプタープロトコル



1 患者の上顎、下顎、咬合、OneBiteキューブのスキャンデータをアップロードします。また、OneBite Evolutionを装着した患者の正面および側面の写真をアップロードしてください。Rxフォームにベースライン（Z）とミッドライン（Y）の値を入力し、使用しているアーティキュレーターの種類をウェブサイトのデジタルポータルに入力してください。



2 上顎および下顎のファイルを印刷します。これらのファイルにはすでにサポートが備わっているため、追加のサポートは必要ありません。プリンターが異なる指示を示す場合は、カスタムサポートを追加する前に提供されたサポートでテスト印刷を行ってください。



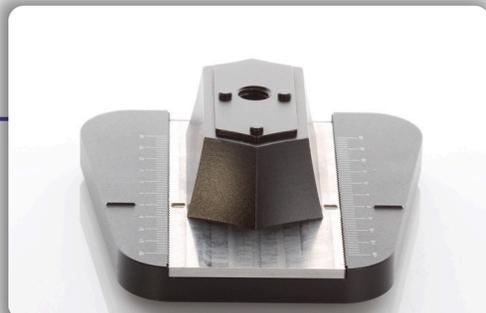
3 追加のサポートが必要な場合は、正確なアタッチメントパターンの歪みを防ぐため、サポートはモデルの底に配置してください。



4 各モデルの底にあるサポートは、モデルをしっかりと持ち、サポートプレートを引き離すことで簡単に取り外すことができます。



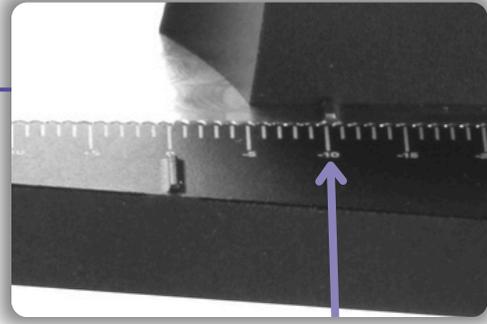
5 各モデルの底にはライザー番号が印刷されています。これは、対応する上顎または下顎アダプターに追加するライザーの数と対応します。



6 上顎および下顎アダプターをアーティキュレータープレートに配置します。上部のスチールベースラインをプレートの上の線と0で合わせます。また、アダプターベースの前部がアーティキュレータープレートの端と平らであることを確認してください。



- 7 モデルに「プレート」の横に数字がある場合、アダプタースチールベースの線をアーティキュレータープレートの測定に合わせて前後に移動させます。



- 8 例えば、モデルに「プレート：-10mm」と表示されている場合、上顎と下顎のアダプターをアーティキュレータープレートの-10mmマークに合わせて配置します。アダプタースチールベースの線をアーティキュレータープレートの数字に合わせて位置を決めます。



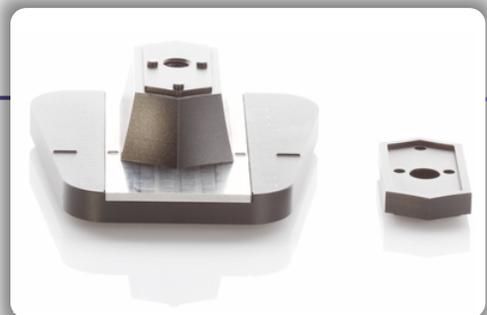
- 9 アダプターがアーティキュレータープレートに正しく配置されたら、次のステップに進みます。



- 10 上顎の下部に必要なライザーを参照してください。この例では、上顎には5mmのライザーが必要です。

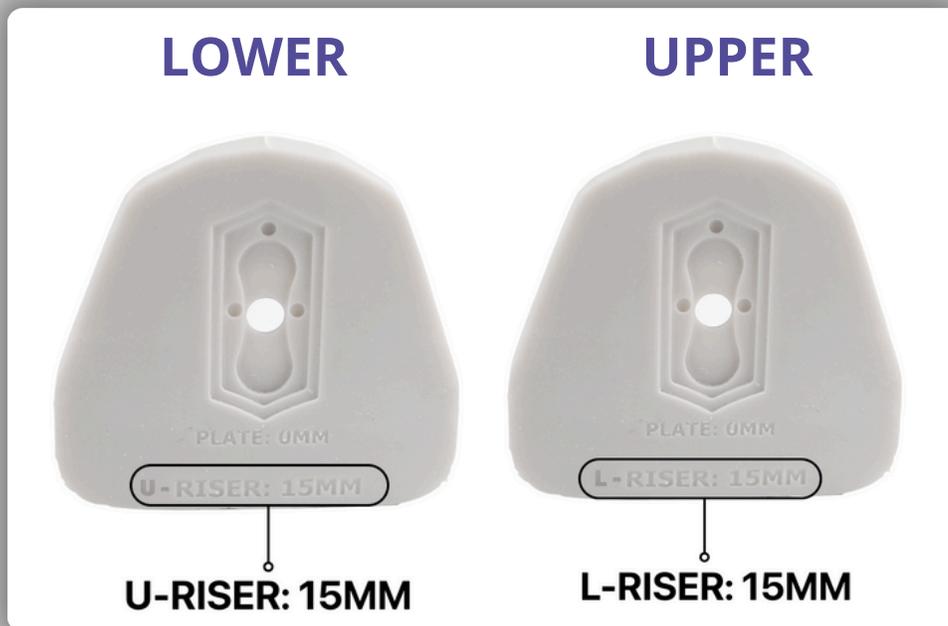


- 11 下顎の下部に必要なライザーを参照してください。この例では、下顎にも5mmのライザーが必要です。



- 12 上顎アーチの底に表示されたライザーの数を上顎アダプターに、下顎アーチの底に表示されたライザーの数を下顎アダプターに配置します。ライザーのピンをライザーの穴に合わせて取り付けます。

Important to Note

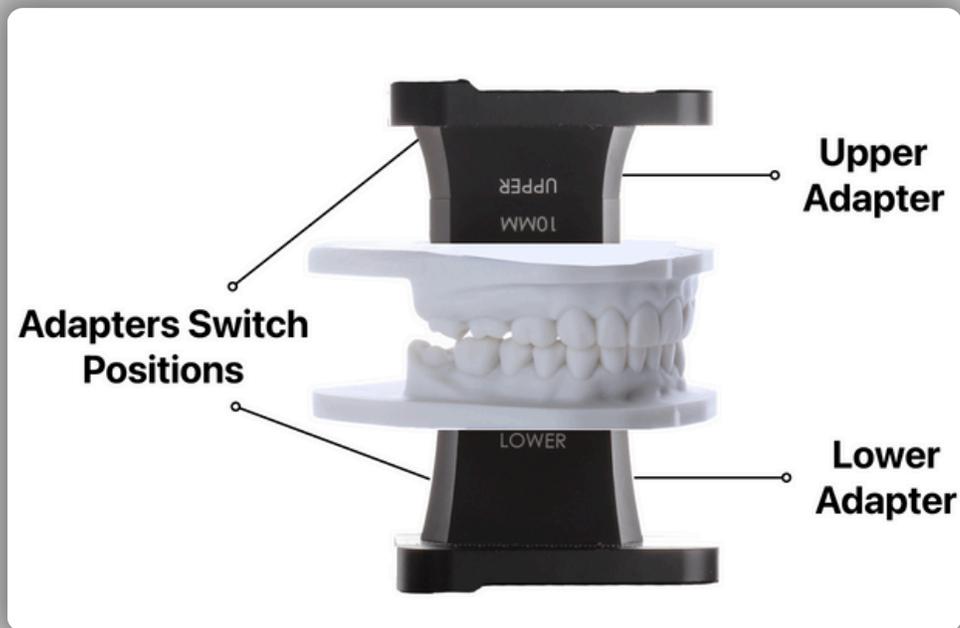


- i. 下顎および上顎の3Dプリントモデルにライザー番号の前に「U」または「L」がある場合、アダプターを交換する必要があります。アーティキュレーターの上部に下顎アダプターを、下部に上顎アダプターを配置します。これは、ファイルが送信されたときにチームから指示されるか、アーチの底に「U-」または「L-」とライザーのテキストの前にラベルが付けられます。ライザーの数はそれぞれのアーチに対応するままです。

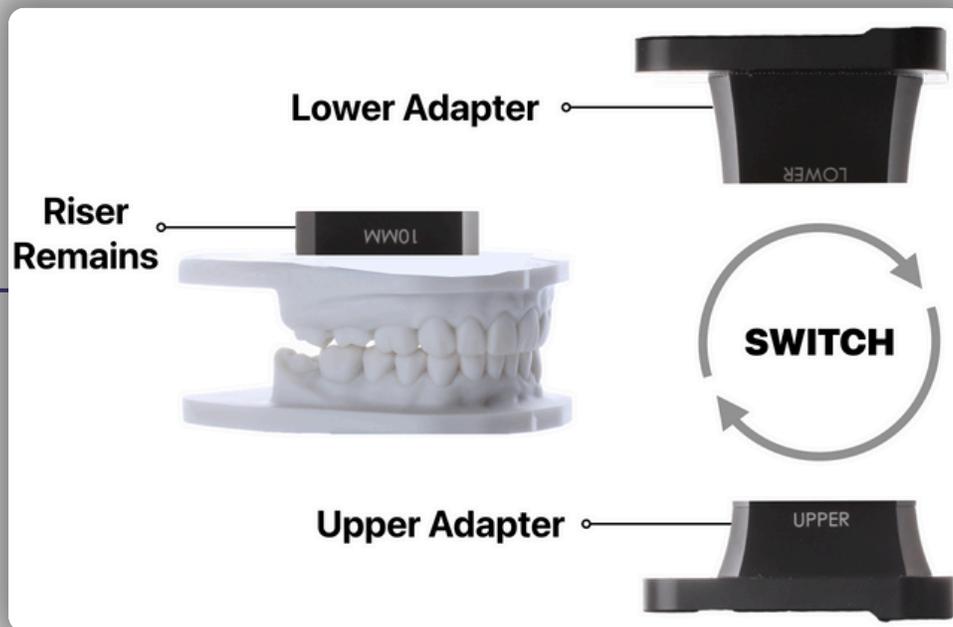


- ii. この例では、上顎モデルには「L-Riser: 10mm」、下顎モデルには「U-Riser: なし」と表示されています。ライザーの数は変わりませんが、アダプターだけが変更されます。下顎アダプターと上顎アダプターを交換します。

Important to Note



- iii. ご覧のとおり、上顎アダプターが上部に、下顎アダプターが下部にあります。上顎モデルにライザー番号の前に「L」があり、下顎に「U」があるため、位置を交換する必要があります。

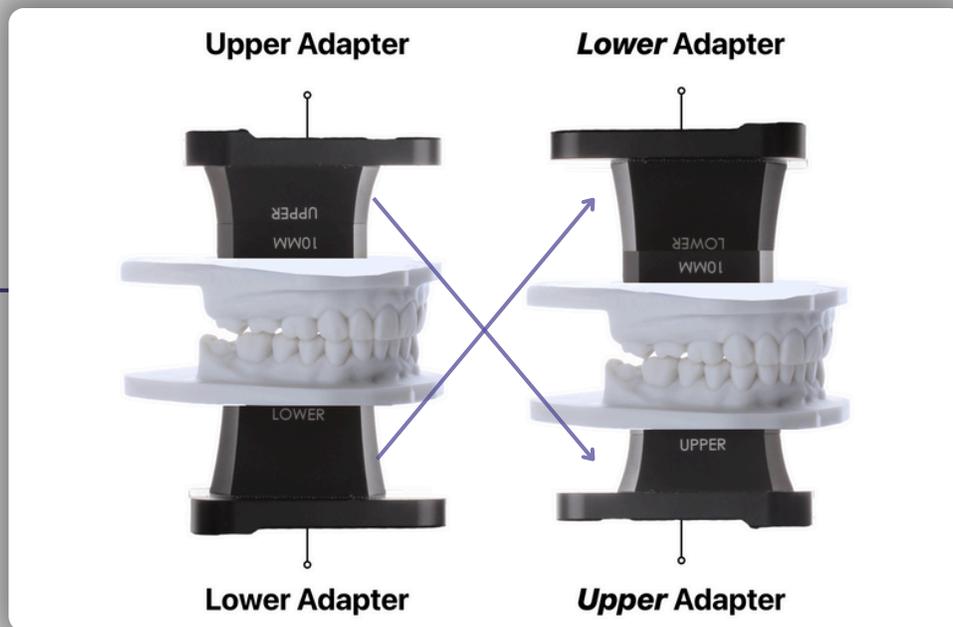


- iv. 上顎と下顎のアダプターを交換して、このケースに対して正しい配置にしてください。

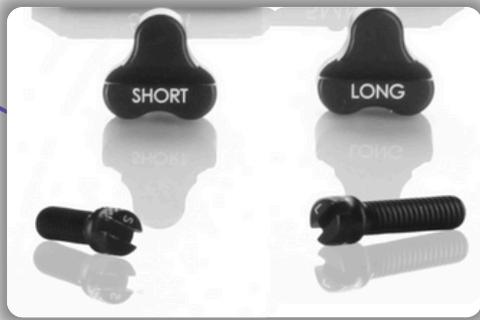
Important to Note



- V. このケースに対してアダプターが正しく配置され、下顎が上部に、上顎が下部にあります。



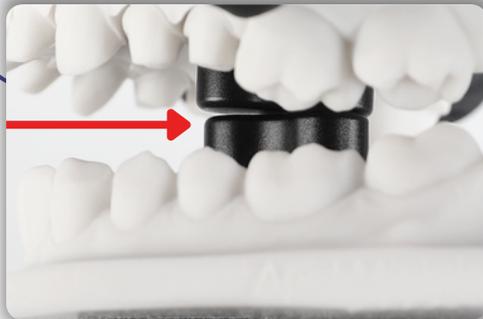
- vi. これは、上顎モデルのライザーテキストに「L」、下顎モデルに「U」と3Dプリントされている場合にのみ適用されます。



13 アライメントが完了したら、ネジでモデルを固定します。通常、長いネジは下顎アダプターに、短いネジは上顎アダプターに使用されますが、場合によっては交互に使用されることがあります。モデルが完全に閉じない場合は、小さなデントネジを使用します。



14 対応するアダプターにそれぞれの上顎および下顎モデルを固定します。これを行うには、ピンを3Dプリントのパターンに合わせます。



15 モデルが干渉なしで完全に閉じることを確認します。閉じない場合は、小さなデントネジに切り替えます。



16 小さなデントネジは、大きなネジと同じように取り付けることができます。必要に応じて、上部のフラットヘッドドライバーの切り欠きを使用してさらに締めることができます。



17 Aネジを交換した後、モデルは完全に閉じます。



18 下顎モデルを磁気アーティキュレータープレートでアーティキュレーターの下部メンバーに配置します。このプロセスを上部メンバーにも繰り返します。これで、臨床医がキャプチャしたデジタルOneBite Evolutionレコードによって提供された真の上顎アーチ位置に症例がアーティキュレートされます。